

皆さんは「形成外科」と聞いて、何を思うかわかりますか。熊本大にも形成外科はななく、なじみが薄いようですので、形成外科を皆さんにもっと知ってほしいと思います。

傷や傷痕をきれいに治すことや、やけどや床ずれといった皮膚の病気は形成外科で治療するというご存じかもしれませんが、顔の骨折や変形、皮膚がんなども含めた体表の腫瘍やあざ、体や手足の変形などの治療も行っています。病気によっては手術だけではなく注射やレーザーで治すこともできます。医者になって37年目になります。形成外科一筋。麻酔

きれいに治す



熊本赤十字病院
形成外科部長

黒川 正人

2020.4.1

科や耳鼻科などの研修を少し受けただけです。形成外科を選んだきっかけは、大学の講義で形成外科手術後のスライドを見て「こんなにきれいに治すことができるのか」と単純に驚き、自分でもこのような治療を行いたいと思ったこと。あまり大きな手術はなさそうで、時間の余裕もあり優雅なアフターファイブを過ごせるのではないかと考えたことも大きな要因でした。

しかし、こうした当初のこともろみは、京都大形成外科入

局後、ほどなく崩れました。まず、時間の余裕は全くありませんでした。顔や乳房のガンでは、ガン手術が終わった後、夕方から再建手術が始まり、終わっても患者さんを見るため夜遅くまでかかることも多かったです。遅い夕食をとり、少しばかりビールを飲むと寝込んでしまって、閉店時に店主から優しく起こされたことも何度か…。

音楽と日本酒をこよなく愛する形成外科医です。これから3ヶ月、お付き合いを。